

## 今週（8月19日から8月23日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高が先週末から横ばいの401~403兆円台で推移する展開となった。無担保コールO/N物は、新しい積み期間に入り、落ち着いた展開で、メガバンク・信託・地銀・証券を中心に、週前半から半ばまでは▲0.07~▲0.05%の出合いとなった。23日は週末要因により一部業態では取り上がりが見られ、▲0.055~▲0.045%の出合いとなった。加重平均レートは、週初19日は▲0.061%から始まり、週後半にかけては徐々に上昇する展開となった。ターム物は、新しい積み期間に入り、ショートターム物の引き合いが見られ、地銀業態を中心に▲0.04~▲0.035%の出合いが見られた。

固定金利方式の共通担保資金供給オペは、23日に2W・15,000億円がオファーされ、応札額937億円（期落ち額605億円）の札割れとなった。

### ●レポ市場

今週のGC T/Nは、概ね▲0.095~▲0.07%程度のレンジで推移した。

SC個別銘柄では、5年132~140、10年335~355、20年162~169、30年59~63、40年9~12などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、先週に引き続き中期債が堅調に推移する中、需給の改善が見られ、全般的に強含みの展開となった。3M物は、店頭買いが入ったこともあってか、▲0.145%程度での出合い。また、年末超えの銘柄については、6M物が▲0.250%、1Y物が▲0.260%程度での出合いと強含みで推移した。

19日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.215%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.2367%、按分落札利回▲0.2228%と前回債よりレートが低下する結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.255~▲0.245%出合いと強含みで推移した。

21日に実施された短国買入オペは、5,000億円でオファーされた。オペ通告後に3M物が▲0.145%で出合う展開となる中、平均落札利回較差+0.010%、按分落札利回較差+0.004%と、在庫調整の売りからか小甘い結果となった。

23日実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.144%から▲0.148%まで買い進まれる展開となる中、平均落札利回▲0.1463%、按分落札利回▲0.1383%とWI取引ほどの強さは見られない結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.155~▲0.145%出合いと強含みで推移している。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、週間償還総額8,700億円弱に対して、発行総額5,400億円程度と償還超となった。夏季休暇明けとなり、事業法人の資金調達再開により発行が膨らむことが予想されたが、小売、鉄鋼、卸売等の業態を除くと小型の案件が多く、全般的に落ち着いたマーケットとなった。入札案件ベースでは償還超となるものの、相対発行で残高を積み増した先も見られたため、市場残高は先週に引き続き21兆7,000億円台と高水準を維持していた。発行レートは期越え物や希少銘柄で浅いマイナスをつける程度で、全体としては0%前後で推移した。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/19 (月)	20,563.16	△ 0.235	106.38	△ 0.061	△ 0.086	4,032,100
8/20 (火)	20,677.22	△ 0.240	106.56	△ 0.059	△ 0.083	4,027,600
8/21 (水)	20,618.57	△ 0.245	106.47	△ 0.058	△ 0.087	4,013,600
8/22 (木)	20,628.01	△ 0.245	106.45	△ 0.058	△ 0.080	4,016,800
8/23 (金)	20,710.91	△ 0.240	106.55	△ 0.052	△ 0.082	4,017,700

## 来週（8月26日から8月30日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/26 (月)	6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				7月の米耐久財新規受注 英国休日(Summer Bank Holiday)
8/27 (火)	7月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	流動性供給 5,000億円 8/28発行	交付税借入 10,500億円 9/4借入		6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 8月の米CB消費者信頼感指数
8/28 (水)					
8/29 (木)	熊本県金融経済懇談会において鈴木審議委員講演 7月の消費動向調査(内閣府 14:00)	2Y 20,000億円 9/2発行	交付税借入 10,500億円 9/6借入		4-6月期の米GDP改定値
8/30 (金)	7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 8月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 7月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00) 月例経済報告(内閣府)	TB3M 42,800億円 9/2発行			7月の米個人所得・消費支出 8月のシカゴPM景況感指数 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/26 (月)	600	3,500	4,100	国債買入 全店共通 CP買入 社債買入 ETF買入		12,600 900 1,300 700	14,400	18,500	TB3M発行▲42600償還42800 国有林野借入▲1000期日1000
8/27 (火)	0	1,000	1,000				0	1,000	
8/28 (水)	0	▲5,000	▲5,000				0	▲5,000	流動性供給発行▲5000
8/29 (木)	▲1,000	▲2,000	▲3,000				0	▲3,000	
8/30 (金)	▲800	2,000	1,200	CP買入		2,500	2,500	3,700	交付税借入▲10500期日10500
週間合計	▲1,200	▲500	▲1,700	—	▲1,100	18,000	16,900	15,200	

8/26は日銀予想、8/27以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、月末を控え、様子見の展開も予想される。レポ市場は、GC T/Nは月末を挟む週となるものの、今週とほぼ横ばいの▲0.10～▲0.07%程度のレンジが予想される。短国市場は、30日に3M物の入札が実施予定となっている。堅調な相場がどこまで継続するか、市場動向が注目される。CP市場は、27日にCP等買入オペが2,500億円で実施予定となっている。市場残高は前回オペの時と同様、高水準で推移しているものの、0%近辺での保有二重は底堅く、高めのレートで売り急ぐ必要はあまりないと思われることから、按分レートは引続き浅いマイナスで決着することが予想される。

主要なイベントとしては、29日に4-6月期の米国GDP改定値、30日に8月のユーロ圏CPI速報値が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。